

## 文献目録

## 菊池氏関係文献目録

川添 昭二・朱雀 信城 共編

## 【凡例】

- 一 菊池氏は肥後国を本拠とする豪族で、その出自は大宰府の府官に求めることができる。また、南北朝時代には南朝方に立って征西將軍宮を奉じ、九州宮方の中心となる。したがって、前号に掲載した「征西將軍宮関係文献目録」と併せてみることで、南北朝時代の九州宮方関係の研究文献を網羅できる。
- 一 菊池氏は室町・戦国時代にいたっても、北部九州の政治史に重要な位置を占める。利用者の便を考え、室町・戦国時代の研究文献も一括して掲出する。
- 一 肥後宇都郡長崎に生まれ、鎌倉・南北朝時代に活躍した曹洞宗の禅僧である大智は、鎌倉・京都などを遊歴したり、元に留学したりした後、元弘3（1333）年ごろ菊池氏の招きを受け肥後に下向して、曹洞宗の地方発展に尽くした。大智に関する研究文献目録を末尾に付す。
- 一 本目録は川添の作成にかかる文献目録カードを朱雀が整理・補訂したものである。

作者	表題	出典（発行所）	年月
青柳種信	菊池氏碑石建方一件付書付		
	菊池武時公	（菊池武時公六百年記念奉賛会事務所）	
	『菊池寂阿公六百年祭賦集』	（甲子吟社）	
堀内清吾編	『菊池武光公銅像建設趣旨書』		
松本雅明	東福寺の絹本着色不動明王立像	『熊本県文化財調査報告書』5	
松本雅明	菊池地方の美術工芸（一）	『熊本県文化財調査報告書』5	
千種宣夫	菊池地方の美術工芸（二）	『熊本県文化財調査報告書』5	
井沢長秀	『菊池伝記』	近藤瓶城編『改訂史籍集覧』3（観突堂）、のち1978.10、防長史料出版社より複製、1984.04、臨川書店より復刻	1883.03
	菊池武朝申状註証（1）～（5）	史料通信叢誌 1後～5後	1893.12、 1894.02・04・05・08
巴井貞吉・加藤由太郎・上田匡	『勤王美談菊池城忠録』		1898.11
東京大学史料編纂所編	『大日本史料』第6編1～48	（東京大学史料編纂所）	1901.02～2012.04
武藤虎太	菊池氏の花押	『好古類纂』6	1901.11
菊城生	菊池神社並びに菊池武重墓	歴史地理 3-12	1901.12
逸名氏	菊池氏の遺跡	歴史地理 4-3	1902.03
佐々豊水	御贈位ありし菊池公の古墳墓碑銘	考古界 2-8	1903.01
佐々豊水	御贈位ありし菊池武時公の古墳墓碑銘	考古界 2-9	1903.02

菊池氏関係文献目録（川添・朱雀）

菊池神社祭典事務所	菊池神社由来書		1903.03
柳井幸弘	菊池氏の末路（大友宗麟の四方経営第一） （承前）（承前）	歴史地理 5-9・11・12	1903.09・11・12
竹中彦次郎水曜会編	『菊池余芳』	（水曜会）、のち1915、天明堂書店より復刻	1905.12
西村天因	『日本宋学史』	（杉本梁江堂）、のち1951.09、朝日文庫として朝日新聞社より復刻	1909.09
武藤巖男・宇野東風・古城貞吉編	『肥後文献叢書』6	（隆文館）、のち1971、歴史図書社より復刻	1910.08
渋江公正	菊池風土記	武藤巖男・宇野東風・古城資元編『肥後文献叢書』3（隆文館）、のち1971.08、歴史図書社より復刊	1910.03
	菊池武茂起請文	黒川真道編『日本教育文庫家訓篇』（同文館）	1910.04
中島常平	『累代勤王菊池戦史』上		1910
宇野東風	菊池氏の冤を雪ぐ（上）（下）	歴史地理 23-1・2	1914.01・02
	菊池寂阿公五百年祭の詩歌集	筑紫史談 1～6、のち1969.01・04・04・06・10・10、福岡県文化財資料集刊行会より復刻	1914.04・07・10、1915.02・05・08
武谷御笠	博多日記と楠木合戦注文	筑紫史談 2、のち1969.04、福岡県文化財資料集刊行会より復刻	1914.07
井沢長秀	菊池伝記	天草郡教育会編『天草郡史料』2（同教育会）、のち1972.09、名著出版より復刻、1986.08、熊本県郷土誌叢刊として臨川書店より復刻再版	1914.09
後藤是山	肥後の勤王	（東京出版社）	1915.05
田中耕祐	『大原戦史』	（小郡村自強会・小郡尋常小学校・帝国在郷軍人会小郡村分会）、のち1941.06、田中穂積により出版、1972.11、小郡市郷土史研究会より復刻	1915.09
	菊池寂阿公五百五十年忌献咏歌	筑紫史談 7、のち1970.01、福岡県文化財資料集刊行会より復刻	1915.11
三浦周行	<書評>『征西將軍宮』を読む	史林 1-2	1916.04
熊本県教育会	菊池家の誠忠	（熊本金港堂）	1916.10
中島利一郎	菊池寂阿事蹟考証上・中・下ノ上・下ノ下	筑紫史談 11～14、のち1970.08・08・10・10、福岡県文化財資料集刊行会より復刻	1916.12、1917.03・06・09
植田均	菊池寂阿の卒年に就いて	筑紫史談 15、のち1971.02、福岡県文化財資料集刊行会より復刻	1917.12
植田均	『肥後の菊池氏』	（嵩山房）、のち1979.06、歴史図書社より復刻	1918.05
武藤長平	桂菴禪師と肥薩の奎運	歴史と地理 2-4、のち同『西南文運史論』（岡書院、1926）に再録	1918.10
飯島茂	鯉打戦場の所在に就て	筑紫史談 21、のち1971.08、福岡県文化財資料集刊行会より復刻	1919.07
熊本県教育会菊池郡支会編	『菊池郡誌』	（熊本県教育会菊池郡支会）、のち1980.11、名著出版より復刻	1919.07
熊本県教育会菊池郡支会	『菊池勤王史』	（菊池神社々務所）	1919.12
熊本県教育会菊池郡支会	『別格官幣社菊池神社五十年祭余香』		1920.03
	『菊池武重公・菊池武光公事蹟』	（菊池神社社務所）	1923.03
菊池神社社務所編	『別格官幣社菊池神社祭神記』	（菊池神社々務所）	1923.05
菊池武夫編	『初鑑』	（植田均）	1927.01
植田均	『勤王菊池軍記』	（菊池史談会）	1927.11
中島幸雄編	『菊池古蹟図譜』	（菊池神社々務所）	1927
熊本市歴史研究会編	『肥後郷土史講演集』1・2	（稲本報徳舎）	1928.06

近藤思川	菊池武光	福岡 4-12	1928.12
角田政治	『贈従五位宗伝次』	(宗継志)、のち「肥後国菊池氏配下として土着した宗氏」との表題で抄録したものを『少弐氏と宗氏』26 (1996.01) に再録	1928.12
本多哲	『浪曲菊池武時入道寂阿公』	(菊池神社昇格奉賛会)	1928
大江文城	菊池の儒学	斯文 11-9	1929.09
松尾楨作	菊池武安公御贈位と蟄打戦場探索の経過	肥前史談 2-8、のち1985.05国書刊行会より復刻	1929.09
植田均	『純忠菊池史乗』	(菊池史談会)	1929.11
岡茂政	筑後竹井萱津城の所在に就いて—吉野朝時代に於ける菊池一色の古戦場—	歴史地理 58-1	1931.07
塚田忠泰	岡茂政氏の『筑後竹井萱津城の所在に就いて』の批判	歴史地理 59-1	1932.01
東京帝国大学文学部史料編纂所編	『大日本古文書 家わけ13 阿蘇文書』1~3	(東京帝国大学)、のち1971、東京大学出版会より復刻	1932.07~1934.06
菊池郡役所編	『菊池郡勢史』	(菊池郡役所)	1932.10
足利衍述	『鎌倉室町時代之儒教』	(日本古典全集刊行会)、のち1970.05、有明書房より、1985.07、鳳出版より復刻	1932.12
西川虎次郎編	『博多と菊池寂阿公』	(菊池神社社務所)	1933.03
木下讚太郎	菊池武時公の最期	九州史苑 2	1933.03
熊本県立菊池高等女学校校友会編	『忠誠菊池小史』	(同会)	1933.04
中川齊	『菊池武時の勤王』	(浦田開明堂)	1933.10
高橋小太郎	『菊池史要—一名菊池家略伝—』	(稲本報徳会)	1933
志水三郎編	『黄華余薫—菊池武時公六百年祭記念—』	(菊池神社社務所)	1934.03
吉松祐一	『少年菊池武時・武光の勤王』	(大同館書店)	1934.04
月足菅山	筑後の菊池氏	筑後 2-6	1934.06
桂松義乗	勤皇菊池氏	「我等の熊本」刊行会編『我等の熊本』(同会)	1934.11
桜井勝三	九州に於ける勤皇の雄菊池武光	歴史教育 9-9	1934.12
関靖	菊池武房消息 (口絵)	書誌学 3-6	1934.12
大西源一	征西大將軍官と九州の勤王家	同『南朝の砥柱』(愛洲顕彰会)	1935.05
藤田精一	楠氏・新田氏並に菊池氏其他に連絡の有った史実論	歴史公論 4-5	1935.05
荒木精之	菊池武時公戦死の博多合戦に関する二、三の疑問	九州日日新聞、のち同『荒木精之著作集1菊池氏一族』(熊本出版文化会館、1991.10)に再録	1935.06
荒木精之	武重卿の墓に詣でて	九州新聞、のち同『荒木精之著作集1菊池氏一族』(熊本出版文化会館、1991.10)に再録	1935.07
荒木精之	戯曲「菊池氏一族」	九州日日新聞、のち同『荒木精之著作集1菊池氏一族』(熊本出版文化会館、1991.10)に再録	1935.10~
志水三郎	非常時中の非常時に於ける武時公	陣迹 1-1	1936.01
笹原佐介	菊池隆直と平重盛 附安徳天皇御陵	陣迹 1-1	1936.01
堤紫海	菊池氏を憶ふ	陣迹 1-1	1936.01
荒木精之	菊池家代々記録	陣迹 1-2、のち同『荒木精之著作集1菊池氏一族』(熊本出版文化会館、1991.09)に収録	1936.02

菊池氏関係文献目録（川添・朱雀）

荒木精之	吉野朝時代の土地問題—わが菊池氏研究の一遠景—	陣迹 1-2、のち同『荒木精之著作集1菊池氏一族』（熊本出版文化会館、1991.09）に収録	1936.02
菊池武時公六百年記念奉賛会事務所	『純忠菊池公を忍ぶ』	（同所）	1936.02
荒木精之	菊池武時、武重時代譜	陣迹 1-3	1936.03
宗重次	菊池温故	陣迹 1-3	1936.03
武田雄三	菊池風土記解題	陣迹 1-3	1936.03
内村政光	高田御所迹	陣迹 1-3	1936.03
宇野東風	菊池武政卿は足利義満に降伏せし人にあらず	陣迹 1-4	1936.04
馬杉太郎解説	博多日記（コロタイプ）	『楠木合戦注文正慶二年分』（前田育徳会尊経閣叢刊）	1936.04
志水三郎	菊池武時年齢考	陣迹 1-4	1936.04
村上迫川	『菊池征西府史 懐良親王と菊池郡』	（村上特許事務所）	1936.05
菊池氏勤王顕彰会編	『忠義の家菊池氏』	（同会）	1937.02
中村直勝	筑後川の合戦	『大日本戦史』1（三教書院）	1937.11
三木正太郎	九州に於ける名和氏一族の活動—特に内河義真について—	建武 2-6、のち同『日本思想史の諸問題』（皇學館大学出版部、1989.12）に再録	1937.11
村上素道	『日本精神の権化—菊池家憲研究—』	（皓臺寺）、のち同『村上素道老子集5 大智禪師と菊池一族』（国際禅道場鳳儀山聖護寺護持会、2004.02）に再録	1937.11
荻野三七彦	古文書に現れた血の慣習（一）（二）	史観 13・15、のち同『日本中世古文書の研究』（荻野三七彦博士還暦記念論文集刊行会、1964.03）、『日本古文書学と中世文化史』（吉川弘文館、1995.02）に再録	1937.11、1938.04
木下讚太郎	芳蹤『大刀洗川畔』に建設された菊池武光公銅像	九州史苑 59	1937.12
橋本徳太郎	『史蹟捏造と国家の責任—菊池武光を弄ぶ大刀洗之場其他—』	（雄山閣）	1938.01
	九州に於ける菊池一族の精神運動	歴史公論 7-2	1938.02
楠正人	菊池千本槍に就いての途説	筑後 6-4	1938.04
志水三郎編	『非常時の菊池氏』	（菊池神社社務所）	1938.09
	菊池武時	鉄道省編『祖国認識旅行叢書3 吉野朝忠臣の遺跡』（博文堂）	1938.09
本田不二郎	義鑑時代に於ける大友氏	史淵 19	1938.12
宮腰一雄	教材 鎮西累代の誠忠菊池氏（尋五・一月）—第二十六 菊池武光の取扱ひ—	歴史教育 13-9	1938.12
伊藤武雄	忠臣菊池武時公墓地記	東洋文化 175	1939.07
平泉澄	菊池氏勤王精神の淵源	日本及日本人 374	1939.07
平泉澄	『菊池氏伝家の精神』	（菊池氏勤王顕彰会）	1940.02
岡茂政	山鹿の「五条文書」	柳河新報、のち『柳川史話』2（柳川郷土史刊行会、1957.11）、柳川郷土研究会編『柳川史話』[全]（青潮社、1984.09）に再録	1940.04
熊本県立鹿本中学校地歴科編	『菊池精忠史』	（同科）	1940
菊池寛・小山栄達	『講談社の絵本173 忠臣菊池武時』	（大日本雄弁会講談社）	1941.04
平泉澄	『菊池勤皇史』	（菊池氏勤王顕彰会）	1941.04

平泉澄	征西將軍宮と菊池五條両氏	福岡県人 19-5	1941.05
太田亮	菊池系図の研究	同『創元選書76 姓氏と家系』(創元社)	1941.07
荻野三七彦	菊池文書の二、三の特色に就いて	建武 4-1	1942.02
林逸馬	大保原合戦—筑後川流域便り—	福岡県人 20-4	1942.04
菊池寛	『勤皇菊池一族』	(大日本雄弁会講談社)、のち同『菊池寛全集』18(文芸春秋、1995.04)に再録	1942.08
下村悦夫	『勤王六代菊池一族』	(金鈴社)	1943.01
新井淳一	『青少年向菊池一族』	(鬼沢書店)	1943.10
荒木精之	『日本少年歴史文学選 菊池武時』	(淡海堂出版)、のち同『荒木精之著作集1 菊池氏一族』(熊本出版文化会館、1991.09)に収録	1944.04
荒木精之	『勤皇烈士顕彰叢書 菊池武光伝・宮部鼎蔵伝』	(文松堂出版)、のち同『荒木精之著作集1 菊池氏一族』(熊本出版文化会館、1991.09)に収録	1944.08
西坂良蔵編	『菊池精神発揚読本』	(大政翼賛会熊本県支部)	1944
本田不二郎	戦国時代の肥後と大友氏との関係	熊本史学 1	1952.04
本田不二郎	大友大内両氏の勢力関係とその肥後に及ぼせる影響	熊本史学 3	1952.10
志方正和	菊池氏の孔子堂について	歴史教育 2-9、のち同『九州古代中世史論集』(志方正和遺稿集刊行会)に再録	1954.09
志方正和	菊池氏の孔子堂	桃李	1955.09
高橋和夫	源氏物語玉鬘巻と北九州	文学 23-9	1955.09
瀧川政次郎	菊池氏式目	歴史教育 4-9	1956.09
松本雅明	東福寺千手観音像並びに脇侍	熊本史学 10	1956.12
菊池郡町村町会編	『新編菊池郡誌』	(同会)	1957.08
志方正和	菊池氏の起源について	熊本史学 15・16合併号、のち同『九州古代中世史論集』(志方正和遺稿集刊行会、1967.08)に再録	1958.11
河合正治	南北朝の動乱を契機とする武士団性格の変化	魚澄先生古稀記念会編『魚澄先生古稀記念国史学論叢』(同会)、のち、『南北朝動乱期における武家社会の変化』と改題して、同『日本史学研究叢書 中世武家社会の研究』(吉川弘文館、1973.05)に再録	1959.07
杉本尚雄	『中世の神社と社領—阿蘇社の研究—』	(吉川弘文館)	1959.09
小野重雄	肥後国天正・慶長検地帳の分析—菊池郡伊倉村および岩本村を中心として—	神奈川大学創立三十周年記念論文集編集委員会編『神奈川大学創立三十周年記念論文集社会科学の方法と諸問題』(神奈川大学)	1959.10
千種宣夫	『菊池家憲』	(吉野精神普及会)	1959
長谷川亀雄	武家教育に於ける家訓に就いて—特に菊池武茂起請文を中心として—	北海道学芸大学紀要第1部 10-2	1960.02
	広福寺文書・清源寺文書・玉祥寺文書・正観寺文書・菊池神社文書	『熊本県史料 中世篇1』(熊本県)	1961.01
大久保道舟編	廣福寺文書	『曹洞宗古文書』上(曹洞宗古文書刊行会)、のち1972.06筑摩書房より増訂版	1961.03
松本雅明	荘園と社寺—肥後国益城郡豊田荘について—	社会と伝承 6-1	1962.04
島津忠夫	筑後川—『太平記』菊池合戦—	西日本新聞、のち2009.03、同『島津忠夫著作集』15(和泉書院)に再録	1963.06
水崎雄文	治承年間における鎮西の叛乱—菊池・緒方氏の場合について—	九州史学 24	1963.07
	菊池神社宝物 菊池家憲	(菊池神社)	1964.02

菊池氏関係文献目録（川添・朱雀）

蟹江秀明	太平記に於ける菊池氏一博多日記を中心に—	中央大学国文 7	1964.03
川添昭二	『人物叢書 今川了俊』	(吉川弘文館)、のち1988.07新装版	1964.06
千種宣夫	菊池経直公建碑顛末記	日本談義	1964
上米良純臣編	『菊池氏要略』	(菊池神社社務所)、のち1968.05、上米良純臣より増補改訂版、1988.06、増補改訂3版	1965.01
熊本県	『熊本県史 総説篇』	(熊本県)	1965.06
佐川弘	浮免についての—考察—在家の進化と関連して—	歴史学研究 301	1965.06
田中一義	『菊池の文化財』	(熊本県菊池事務所)	1965.07
筑紫豊	菊池入道寂阿と博多総鎮守櫛田神社	うわさ 31-10	1965.10
杉本尚雄	『人物叢書32 菊池氏三代』	(吉川弘文館)、のち1988.04、新装版	1966.04
川添昭二	『日本の武将18 菊池武光』	(人物往来社)、のち2013.06、中世武士選書16として戎光祥出版より復刊	1966.06
千種宣夫	御松雛子能	『熊本県文化財調査報告書』	1967.03
藤岡大拙	禪宗の地方伝播とその受容層について—室町前期を中心に—	笠原一男『日本宗教史研究1 組織と伝導』(法蔵館)	1967.07
熊本県神社庁 菊池支部編	『菊池郡市神社誌』	(熊本県神社庁菊池支部)	1967.09
下川晃義	大友氏の菊池氏相続に関する—考察	政治経済史学 58	1967.11
陸上自衛隊第 8師団司令部 編	『誠忠菊池累代史』	(同司令部)	1969.03
千種宣夫	『菊池の伝統』	(菊池神社々務所)	1970.03
寺本成子	九州における南北朝内乱期の性格—広福寺文書を中心に—	熊本史学 35・36合併号	1970.04
上米良純臣	『菊池氏の女性たち—精忠好学の名族—』	(菊池至誠会)	1970
上米良純臣編	寄合衆1~53	(上米良純臣)	1971.02~1988.08
山口隼正	南北朝期の肥後国守護について—菊池武光まで—	東京大学史料編纂所報 6、のち同『南北朝期九州守護の研究』(文献出版、1989.03)に再録	1971.03
阿蘇品保夫	南北朝・室町期における山野支配の展開—阿蘇社領湯浦郷と山本庄大清水村の場合—	史学研究 113	1971.11
三城祥象	矢部・津江地方の菊鹿への依存性	熊本史学 41	1972.10
石井進校注	菊池武重起請文	『中世政治社会思想』上 (岩波書店)	1972.12
木村忠夫	大友氏の肥後支配	熊本史学 42	1973.06
隈部親養	『文献集成 清和源氏隈部家代々物語全』	(新潮社)	1973.06
	菊池一族・名僧大智禪師	日本伝説拾遺会監修『日本の伝説15 南九州／沖縄』(教育図書出版)	1973
村田正志	広福・大乘阿寺における曹洞宗伝法文書	日本歴史 308	1974.01
吉川周平	菊池の松雛子について	民俗芸能 55	1975.01
熊本県教育委 員会	菊池の御松雛子能について—中世芸能「無形文化財」保存の意義—	ふるさとの自然と歴史 46	1975.03
菊池義意	菊池武重と同田貫	歴史研究 176	1975.09
横尾泰宏	天草における地頭領主制の展開—志岐氏を中心として—	熊本史学 46	1975.10

桑原憲彰	戦国期の有力国衆の館跡（熊本県指定史跡隈府館）—熊本県鹿本郡菊鹿町上永野所在—	ふるさとの自然と歴史 66	1976.11
福川一徳	「国崩（くにくずし）」伝来考—大砲伝来に関する新史料をめぐって—	古文書研究 10	1976.12
荻野三七彦	肥後山鹿の摺仏文書	歴史手帖 5-2	1977.02
村上豊喜	鎌倉時代の館と流通把握	ふるさとの自然と歴史 69	1977.02
熊本県教育委員会編	『熊本県文化財調査報告27 赤星福土・水溜遺跡』	(熊本県教育委員会)	1977.09
工藤敬一	鎮西養和内乱史論—その実態と意義—	熊本大学文学会法文論叢 41、のち同『莊園公領制の成立と内乱』（思文閣出版、1992.11）に再録	1978.03
筑紫豊	「博多日記」が解いた祇園町遺跡の謎	西日本文化 146	1978.11
松本健郎	菊池川流域の考古学（一）—玉名郡菊水町下津原・上西原石棺—	熊本史学 51	1978.11
大田幸博	菊池十八外城	ふるさとの自然と歴史 91	1978.12
上米良純臣	『菊池氏の歴史要略』	(私家版)	1978
川添昭二	菊池氏の大宰府戦略	「新・熊本 of 歴史」編集委員会編『新・熊本 of 歴史 3中世』（熊本日日新聞社）、のち「肥後菊池氏と大宰府」と改題して同『中世九州の政治と文化』（文献出版、1981.06）に再録	1979.06
	本郷文書	早稲田大学図書館編『早稲田大学所蔵荻野研究室収集文書』下（吉川弘文館）	1980.05
黒末己年生	ある菊池一族の流れ	姓氏と家紋 35	1980.08
工藤敬一	菊池氏と阿蘇氏—国司と国上使—	瀬野精一郎編『南北朝遺文 九州編 月報』2（東京堂出版）	1981.04
工藤敬一	九州在地勢力の反平家活動—菊池隆直と緒方惟能—	歴史公論 7-4	1981.04
中武安正	『菊池氏を中心とせる米良史』	(中武雅周)	1981.09
黒木道男	北朝方に寝返った菊池武成	もうかた 15	1981.11
菊池市史編さん委員会編	『菊池市史』上・下	(菊池市)	1982.03、1986.07
阿蘇品保夫	戦野を駆ける千本槍の鋭鋒—菊池武重の新戦術—	児玉幸多監修・佐藤和彦編『日本史の舞台4 吉野の嵐動乱の炎』（集英社）	1982.06
荒木精之	『こころの文庫 菊池一族』	(全日本家庭教育研究会)、のち同『荒木精之著作集1 菊池氏一族』（熊本出版文化会館、1991.09）に再録	1982.06
上米良純臣	ふるさと菊池	(菊池の会)	1982.10
熊本県教育委員会編	『熊本県文化財調査報告59 鞠智城跡』	(熊本県教育委員会)	1983.02
大城美知信	菊池氏と筑後—室町・戦国期を中心として—	地方史ふくおか 44	1983.07
瀬野精一郎	九州少武・菊池氏宿命の対決—北朝方の少武氏、南朝方の菊池氏の抗争は、鎮西探題の襲撃をめぐる対立が前提にあった—	歴史と人物 149	1983.08
島津義昭	鞠智城についての一考察	九州歴史資料館編『九州歴史資料館開館十周年記念大宰府古文化論叢』上（吉川弘文館）	1983.12
森藤義信	菊池氏の源流について	熊本史学 60・61合併号	1984.06
菊池秀之	『因縁の菊池氏』	(菊池秀之)、のち1984.10、補論、1984.12、追補	1984.08
杉本尚雄・松本雅明・森田誠一・山口修編	『熊本の歴史』3	(熊本日日新聞社)	1984.11
永井昌文	祇園町遺跡D-1区出土人骨群	『福岡市埋蔵文化財調査報告書』126	1986.03

菊池氏関係文献目録（川添・朱雀）

正木喜三郎	宗像妙忠考	古代文化 38-5、のち「宗像妙忠」と改題して、同『古代・中世宗像の歴史と伝承』（岩田書院、2004.09）に再録	1986.03
工藤敬一	菊池隆直―肥後の源平争乱―	熊本大学学生部編『熊本一人とその時代―』（同部のち、同編『熊本一人とその時代―』（三章文庫、1993.04）に再録	1986
武田昌憲	多々良浜合戦・新考―史実と『梅松論』『太平記』―	軍記と語り物 23	1987.03
山田英雄	出田氏の出自と菊池氏	諫早史談 19	1987.03
五味文彦	説話の風景	同『平凡社選書112 平家物語、史と説話』（平凡社）	1987.11
荒木栄司	『菊池一族の興亡』	（熊本出版文化会館）	1988.04
富田紘一	菊池氏	今谷明・藤枝文忠編『室町幕府守護職家事典』上（新人物往来社）	1988.04
折尾学	菊池一族の首級か―御供所町出土の骨―	川添昭二編『よみがえる中世1 東アジアの国際都市博多』（平凡社）	1988.08
上米良利晴	『菊池一族遺文集』	（上米良利晴）	1989.04
川副義教	永正四年阿蘇惟長の隈府入部に関する一考察	史燈 8	1989.08
工藤敬一	菊池氏	『地方別日本の名族12 九州編Ⅱ』（新人物往来社）	1989.10
荒木栄司	菊池武朝『肥後古城物語』より	少式氏と宗氏 14	1990.02
森藤義信	菊池系図の実態について	熊本史学 66・67合併号	1990.06
阿蘇品保夫	『菊池一族』	（新人物往来社）、のち2007.04、同社より改訂新版	1990.10
七城町誌編さん委員会編	『七城町誌』	（七城町）	1991.01
武田昌憲	多々良浜合戦における足利方の活躍小考―『梅松論』と『太平記』―	茨女国文 3	1991.03
菊池秀之	『菊池氏内伝―東福寺・円通寺・春日神社と菊池氏、その全国分布―』	（輪足山東福寺文書刊行会）	1991.12
青木勝士	肥後国菊池氏の対朝交易―『李朝実録』『海東諸国紀』記事の分析から―	戦国史研究 26	1993.08
旭志村史編纂委員会	『旭志村史』	（旭志村）	1993.09
中武雅周	日向の米良	西日本文化 297	1993.12
柳田快明	宇都宮市と木葉	『玉東町史 通史編』（玉東町）	1995.01
島津義昭	鞠智城跡の調査	日本歴史 564	1995.05
今坂正哉	『寛政六年洪江公正著菊池風土記』	（ボス・コーポレーション）	1996.10
青木勝士	肥後菊池氏の守護町「隈府」の成立―十五・六世紀の地方政治都市構造の復元―	熊本史学 72・73合併号	1996.12
小田富士雄	西日本古代山城に関する最近の調査成果―特に朝鮮式山城について―	古文化談叢 37	1997.01
上田純一	曹洞宗禅僧の対外交流	年報中世史研究 22	1997.05
入内島一崇	『王朝の武士菊池一族』	（上毛新聞社出版局）	1997.08
工藤敬一	肥後国玉名郡の荘園公領と在地領主	熊本大学文学会文学部論叢歴史学篇 61	1998.03
三池賢一	中世の瀬高について	地方史ふくおか 105	2000.03
西村榮弘	大原合戦	少式氏と宗氏 34	2000.06
中村知裕	筑後における菊池氏の権力形成と大友氏の領国支配	福岡大学大学院論集 32-1	2000.07



上田純一	『九州中世禅宗史の研究』	(文献出版)	2000.10
重松敏彦	『源氏物語』玉鬘巻と大宰府・管内諸国の官人	鈴木一朗監修・平田善信編『国文学解釈と鑑賞別冊 源氏物語の鑑賞と基礎知識12 玉鬘』(至文堂)	2000.10
高石大輔	中世後期の高瀬津	地方史ふくおか 108	2001.02
市沢哲	『梅松論』における建武三年足利尊氏西走の位置—もうひとつの多々良浜合戦・湊川合戦—	神戸大学史学年報 16	2001.05
平山繁信	菊池武光	同『西郷隆盛』(文芸社)	2002.04
栗林文夫	菊池武夫と鹿児島	日本歴史 654	2002.11
中村知裕	中世における公家土着の一形態—五条氏を素材として—	福岡大学大学院論集 34-2	2002.12
橋本雄	肥後菊池氏の対外交流と禅宗・港町	禅文化研究所紀要 26、のち、「肥後地域の国際交流と偽使問題」と改題して、同『中世日本の国際関係—東アジア通交権と偽使問題—』(吉川弘文館、2005.06)に再録	2002.12
阿蘇品保夫	菊池一族史の再検討	阿蘇品保夫他『熊本歴史叢書3 中世乱世を駆けた武士たち』(熊本日日新聞社)	2003.12
崎山勝弘	征西府の肥後国支配—菊池氏と阿蘇氏との関わりをめぐって—	今江廣道編『中世の史料と制度』(続群書類従完成会)	2005.06
森茂暁	<コラム>街角に息づく歴史—福岡市中央区六本松三丁目「菊池霊社」—	市史研究ふくおか 2	2007.03
堤克彦	『郷土史譚100話 菊池』	(熊本出版文化会館)	2007.08
服部英雄	宗像大宮司と日宋貿易—筑前国宗像唐坊・小呂島・高田牧—	九州史学研究会編『境界からみた内と外「九州史学」創刊五〇周年記念論文集下』(岩田書院)	2008.12
小郡市埋蔵文化財調査センター編	『大原合戦650周年記念事業大原合戦展—九州南北朝最大の合戦—』	(大原合戦650周年実行委員会・小郡市教育委員会)	2009.07
三浦龍昭	『征西将軍府の研究』	(青史出版)	2009.11
中内勝信	『球磨の菊池氏—菊池義武後胤の系図と墓所—』	(私家版)	2013.09

## 大智関係文献目録

作者	表題	出典(発行所)	年月
	『大智禅師偈頌』	(貝葉書院)	
	『大智禅師逸偈録』		
	大智法語	山田孝道編『校補点註禅門法語全集』正(光融館)、のち同編『校補点註禅門法語集』上・中・下(光融館、1921.06)に再録	1895.12
峯玄光	『大智禅師偈頌弁解』	(民友社)	1913.12
村上素道	『大智禅師』	(皓臺寺)、のち同『村上素道老子集5 大智禅師と菊池一族』(国際禅道場鳳儀山聖護寺護持会、2004.02)	1932.09
	『祇陀開山大智禅師偈集』	(万日山人)	1932
村上素道	『純忠菊池氏』	(皓臺寺)	1933.04
村上素道	『純忠菊池氏と大智禅師』	(皓臺寺)	1934.01
大久保道舟	大智禅師の生涯とその鴻業	駒沢大学実践宗乗研究会年報 3	1935.03
平泉澄	菊池氏と大智との関係	史学雑誌 50-9	1939.09
村上素道	平泉澄氏の猛省を促す	大日 208	1939.10

菊池氏関係文献目録（川添・朱雀）

堀亮策	大智禪師と武時公	大日 211	1939.11
釘宮武雄	菊池氏の誠忠と大智禪師	禪学研究 32	1939.11
緒方宗博	平泉博士対村上素道師の論議に就いて— 大智禪師と菊池武時との関係問題—	禪宗 47-11・12	1939.11・12
村上素道	『袖珍大智偈頌 全』	(皓臺寺)	1941.01
平野流香	大智禪師	荒木精之編『肥後先哲評伝』(日本談義社)	1941.05
平田俊春	菊池武時公と大智禪師	同『吉野時代の研究』(山一書房)	1943.03
館残翁	官三位中将与大智禪師	大日 300	1943.08
角田春雄	大智禪師の研究	印度学仏教学研究 13	1958.12
伊藤古鑑	禪と戒とについて	禪学研究 50	1960.02
横溝光暉	『鳳儀山聖護寺 大智禪師尊像由来記』	(全国師友協会)	1960
大久保道舟編	祇陀寺文書・廣福寺文書	『曹洞宗古文書』上(曹洞宗古文書刊行会)、のち 1972.06、筑摩書房より増訂版	1961.03
素田	『大智禪師と菊池武時・武重公』	(私家版)	1964.06
鈴木素田訓註	『大智禪師偈頌』	(其中堂)	1965.08
荒木精之	大智禪師六百年遠忌記念特集をするにあ たって	『大智禪師偈頌抄』(其中堂)	1965.08
山口晴通	大智禪師偈頌研究の一考察	印度学仏教学研究 33	1968.12
大村豊隆	大智の歴参における二三の問題—寒巖及 び東明の影響をめぐって—	宗学研究 14	1972.03
広瀬良弘	大智禪師とその門下の寺院相承について	宗学研究 14	1972.03
山端昭道	北九州地方資料調査報告	宗学研究 14	1972.03
広瀬良弘	曹洞宗史上における大智禪師の位置	宗学研究 15	1973.03
広瀬良弘	曹洞宗地方展開に関する一考察—大智と 肥後菊池氏の場合—	駒沢史学 21	1974.03
大山興隆	『新釈大智偈頌』	(曹洞宗宗務庁)	1975.01
広瀬良弘	禅僧の在俗への基本線—曹洞禅を中心と して—	印度学仏教学研究 23-2	1975.03
藤吉慈海	宗教体験としての禅と念仏	禅文化研究所紀要 9	1977.11
水野弥穂子	『日本の禅語録9 大智』	(講談社)	1978.02
飯田利行	『大智偈頌訳』	(国書刊行会)	1978.06
広瀬良弘	中世の禅僧・禅寺と倫理・秩序—曹洞宗 を中心として—	下出積與編『日本における倫理と宗教』(吉川弘文 館)	1980.05
鈴木格禅	祇陀大智と「菊池家憲」	印度学仏教学研究 29-2	1981.03
中世古祥道	『大智偈頌』の六代伝衣について	宗学研究 24	1982.03
佐藤秀孝	曹洞禅者の日中往来について	宗学研究 26	1984.03
藤吉慈海	禅と念仏	禅研究所紀要 13	1984.10
岡島秀隆	西九州研修の旅	禅研究所紀要 14	1985.12
佐藤秀孝	大智禪師の在元中の動静について	中国仏教見聞記 7	1986

竹内弘道	瑩山禪師の著作について (一)	宗学研究 28	1986.03
石島尚雄	永興詮慧に関する一考察	曹洞宗研究員研究紀要 19	1987.07
石島尚雄	詮慧に関する資料について	曹洞宗宗学研究所紀要 1	1988.03
檜崎一光	『こころの旅路 大智禪師山居の郷』	(聖護寺)	1988.05
飯田利行	『良寛語釈大智偈頌訳』	(大法輪閣)	1988.09
広瀬良弘	禪僧大智と肥後菊池氏	同『禪宗地方展開史の研究』(吉川弘文館)	1988.12
安藤嘉則	『無尽集』について	宗学研究 32	1990.03
安藤嘉則	大智禪師の著作について	宗教研究 283	1990.03
広瀬良弘	『菊池氏と大智』	(大法輪)	1991.05
鈴木格禪	祇陀大智と韓国寺院	印度学仏教学研究 83	1993.12
上田純一	大智研究の新たな課題	加能史料編纂委員会編『加賀・能登歴史の窓』(石川史書刊行会)、のち同『九州中世禪宗史の研究』(文献出版、2000.10) に再録	1999.11
志部憲一	天桂と古則・公案について	宗学研究 42	2000.03
上田純一	『九州中世禪宗史の研究』	(文献出版)	2000.10
飯田利行編訳	大智偈頌	『現代語訳 洞門禪文学集 懐契・大智』(国書刊行会)	2001.07
村上素道	『大智禪師と菊池一族 村上素道老子集』	(国際禅道場鳳儀山聖護寺護持会)	2004.02
村井章介	『東アジアのなかの日本文化』	(放送大学教育振興会)	2005.03
館隆志	大智禪師発願文についての考察	宗学研究 47	2005.03
村井章介	大智は新安沈船の乗客か	日本歴史 694	2006.03
岩永正晴	『大智禪師逸偈行録』について	宗学研究 49	2007.04

(かわぞえ・しょうじ 太宰府市公文書館構想調査研究委員会顧問/九州大学名誉教授、  
すじゃく・しんじょう 太宰府市総務部情報・公文書館推進課市史資料室嘱託)